

11月10日(日) 第1会場

共創館 4F みらいホール

8:30 ~ 10:00

シンポジウム 4

障害者のモビリティ

座長：西嶋 一智（宮城県リハビリテーション支援センター）
栗林 環（横浜市健康福祉局障害者更生相談所）

SP4-1 車椅子シーティングクリニック

栗林 環（横浜市健康福祉局障害者更生相談所）

SP4-2 車いすインストラクションの実践

岡野 善記（合同会社アライフ）

SP4-3 電動車椅子のモビリティと留意ポイント

北野 義明（石川県リハビリテーションセンター バリアフリー推進工房）

SP4-4 自動車改造と身障者用運転補助装置の今

杉山 光一（有限会社フジオート）

プログラム
2日目

10:10 ~ 11:40

シンポジウム 5

生活期における下肢装具の更新について

座長：高岡 徹（横浜市総合リハビリテーションセンター）
河津 隆三（小倉リハビリテーション病院）

SP5-1 生活期における下肢装具 訪問リハビリテーションを担当する理学療法士の立場から

馬上泰次郎（医療法人社団 CMC コールメディカルクリニック広島）

SP5-2 生活期における下肢装具の更新について

中武 将隆（有限会社中武義肢製作所）

SP5-3 補装具費支給制度における効果的なフォローアップ（脳卒中患者の下肢装具を中心に）

横井 剛（横浜市総合リハビリテーションセンター）

SP5-4 補装具管理手帳と地域リハビリテーション支援体制の取組みについて

宮永 敬市（北九州市保健福祉局地域リハビリテーション推進課）

12:00 ~ 13:00

ランチョンセミナー 2

座長：山本 澄子（国際医療福祉大学大学院）
霜鳥 大希（国立研究開発法人国立長寿医療研究センター）

LS2-1 VICON とともに 30 年、人の動きを観てきました

山本 澄子（国際医療福祉大学大学院）

LS2-2 進化するテクノロジーがもたらす身体評価の多様性と可能性

霜鳥 大希（国立研究開発法人国立長寿医療研究センター）

共催：インターリハ株式会社

13:10 ~ 14:10

特別講演 2

座長：下堂 蘭 恵（鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 リハビリテーション医学）

SL2 義肢装具業界におけるアントレプレナーシップ

遠藤 謙（ソニーコンピュータサイエンス研究所／株式会社 Xiborg／NPO 法人ギソクの図書館）

14:20 ~ 15:20

特別講演 3

座長：栗山 明彦（人間総合科学大学 保健医療学部 リハビリテーション学科 義肢装具学専攻）

SL3 補装具費支給制度について

徳井亜加根（厚生労働省 社会・援護局 障害保健福祉部 企画課 自立支援振興室）

15:30 ~ 16:30

教育講演 7

座長：石渡 利奈（国立障害者リハビリテーションセンター 研究所）

EL7 歩行と下肢装具のバイオメカニクス

山本 澄子（国際医療福祉大学大学院）

11月10日(日) 第2会場

共創館 3F B 中会議室

8:30 ~ 9:30

教育講演 8

座長：松田 靖史（川村義肢株式会社 開発部／大阪大学大学院）

EL8 その体幹装具は生活を妨げていませんか？

三上 靖夫（京都府立医科大学大学院 リハビリテーション医学）

9:40 ~ 10:40

教育講演 9

座長：園田 茂（三九朗病院）

EL9 脳卒中上肢機能障害に対する新しいリハビリテーション治療

藤原 俊之（順天堂大学大学院医学研究科リハビリテーション医学）

10:50 ~ 11:50

一般口演 12

小児筋電義手 1

座長：横山 修（神奈川県総合リハビリテーションセンター リハビリテーション科）

2-2-1 地域医療連携により小児筋電義手訓練の継続的な支援に至った一例

渡久知かおり（琉球大学病院医療技術部リハビリテーション部門）

2-2-2 ダウン症を有する先天性上肢形成不全児に対する食事用自助具が筋電義手の日常生活への定着に有効だった一例

吉野 樹（兵庫県立福祉のまちづくり研究所）

2-2-3 中学入学後に筋電義手の使用を再開した先天性上肢形成不全の1例

木村 麻美（国立障害者リハビリテーションセンター）

2-2-4 先天性上肢形成不全児に対する筋電義手操作と両手動作スキル習熟に向けた介入ー右前腕欠損短断端の1例ー

岩瀬 充（神奈川県総合リハビリテーションセンター 研究部 リハビリテーション工学研究室／神奈川県総合リハビリテーションセンター リハビリテーション部 作業療法科）

2-2-5 先天性上肢欠損児に対する筋電義手の活用に向けた幼稚園・保育所への訪問の試み-3症例からの考察-

中澤 若菜（神奈川県総合リハビリテーションセンター 研究部 リハビリテーション工学研究室／神奈川県総合リハビリテーションセンター 診療管理部 総合相談室）

2-2-6 小児筋電義手の装用訓練を実施する新規患者数と訓練用筋電義手の必要数の検討

藤原 清香（東京大学医学部附属病院）

13:00 ~ 13:50

一般口演 13

小児筋電義手 2

座長：柴田八衣子（兵庫県立リハビリテーション中央病院 リハビリ療法部）

2-2-7 前腕極短断端の先天性上肢形成不全児に製作した筋電義手の症例報告

野本 葵（株式会社松本義肢製作所）

2-2-8 先天性前腕欠損児に対し、乳幼児期に装飾用義手から開始し、筋電義手さらには運動用義手まで支援した症例

横山 修（神奈川県総合リハビリテーションセンター リハビリテーション科）

2-2-9 先天性前腕欠損児の筋電義手使用にあたり、幼稚園で説明会を行い、幼稚園で定着した症例

横山 修（神奈川県総合リハビリテーションセンター リハビリテーション科）

2-2-10 成人の筋電電動義手の修理に関する調査－小児との比較

矢野 綾子（国立障害者リハビリテーションセンター研究所義肢装具技術研究部）

2-2-11 「小児用筋電義手マニュアル」制作報告

溝部二十四（兵庫県立総合リハビリテーションセンター）

13:50 ~ 14:40

一般口演 14

上肢切断・その他

座長：緒方 徹（東京大学医学部附属病院リハビリテーション科）

2-2-12 頭部加速度信号を用いた両腕欠損者向け電動ハンド操作法による物体把持と垂直搬送

森 貴彦（湘南工科大学）

2-2-13 小児用義手の縄跳び用手先具の開発と普及に向けた取り組み

藤原 清香（東京大学医学部附属病院）

2-2-14 鉄棒用前腕義手を使用した上肢形成不全児の鉄棒運動における前回り下りの特徴と指導方法

立松 佳通（東京大学医学部附属病院／大泉スワロー体育クラブ）

2-2-15 先天性前腕欠損児に用いた義手の工夫

中原 誉彬（有限会社 佐賀有菌義肢製作所）

2-2-16 日常生活における筋電義手の利用状況のオンラインチェックシステムの開発

本田雄一郎（大阪産業大学）

14:40 ~ 15:40

一般口演 15

筋電義手

座長：田中宏太佳（中部労災病院リハビリテーション科）

2-2-17 左上肢機能全廃および右トランスカーパル切断のケースに対し筋電義手を製作しADL自立に至った一症例

関口 岳人（有限会社アルテックブレース）

2-2-18 就労と趣味活動の遂行に向けた筋電義手の電動ハンド選定の経験

河合奈名子（産業医科大学病院リハビリテーション部）

2-2-19 前腕筋電義手における従来型筋電ハンドと高機能筋電ハンド 3 種のピンチ能力・把持能力の比較

中居 玲雄（JR 東京総合病院）

2-2-20 成人先天性全指欠損者の筋電義手のソケット製作について

丸田 耕平（神奈川県総合リハビリテーションセンター リハビリテーション部 リハビリテーション工学学科／神奈川県総合リハビリテーションセンター 研究部 リハビリテーション工学研究室）

2-2-21 手部切断に対する能動義手・電動義手製作方法の検討

宮川 拓也（株式会社松本義肢製作所）

2-2-22 筋電義手 2 製品における三次元動作解析装置を用いた比較評価（第 2 報）－基本操作時の上部体幹角度の分析－

岩瀬 充（神奈川県総合リハビリテーションセンター 研究部 リハビリテーション工学研究室／神奈川県総合リハビリテーションセンター リハビリテーション部 作業療法科）

15:40 ～ 16 :30

一般口演 16**能動義手**

座長：増田 章人（株式会社 近畿義肢製作所 製造部）

2-2-23 肩関節離断に対し屈曲外転式肩継手 AXIS を導入した能動義手により農作業時の協調性が改善した 1 例

松前めぐみ（兵庫県社会福祉事業団 総合リハビリテーションセンター 障害者支援施設 自立生活訓練センター）

2-2-24 能動短軸肘ブロック継手の一部改良について

内田 孝信（橋本義肢製作株式会社）

2-2-25 復職における義手へのニーズを明確にし、能動義手を用いて木工業に復職した 1 例：作業療法支援事例

荒上 秀平（産業医科大学病院リハビリテーション部）

2-2-26 上腕切断の高齢者 2 症例に対する、上腕能動義手の製作とその後の義手選択

川嶋 俊紀（鉄道弘済会義肢装具サポートセンター）

2-2-27 能動義手適合判定のチェックポイントの構造モデリング

大西 謙吾（東京電機大学）

11月10日(日) 第3会場

本館 B2F 7号(中会議室)

8:30 ~ 9:40

一般口演 17

二重障害

座長：和田 太（順天堂大学医学部附属練馬病院 リハビリテーション科）

- 2-3-1 脳梗塞右片麻痺に左糖尿病性足壊疽を合併しサイム切断を選択しスタビーを作成後に義足を処方した1例

江藤 大史（小倉リハビリテーション病院／産業医科大学）

- 2-3-2 麻痺肢が下腿切断に至った仙骨神経叢損傷者に対する義足製作

樋口 凱（国立障害者リハビリテーションセンター研究所）

- 2-3-3 長下肢装具と下腿義足を融合した義足を作成し、麻痺側下腿切断患者が歩行・階段昇降動作を獲得できた事例

岡田 修平（医療法人はあとふる 八尾はあとふる病院）

- 2-3-4 右リスフラン関節離断、左下腿切断術後に歩行獲得に至るまでの装具作成過程の症例検討

黒木 洋美（大分中村病院）

- 2-3-5 両下肢切断（右ショパール切断、左リスフラン切断）に対し義足を再作成した1例

田中 亮（産業医科大学医学部リハビリテーション医学講座）

- 2-3-6 右下腿切断に左足部潰瘍を伴う患者に義肢装具を処方してリハビリテーション治療を行った一例

小林 美香（東京大学医学部附属病院リハビリテーション科）

- 2-3-7 リハビリテーション治療経過中に骨折を合併した股関節離断者の転倒リスク要因の検討

大西 敦斗（産業医科大学医学部リハビリテーション医学講座）

9:40 ~ 10:50

一般口演 18

下肢切断 1

座長：橋本 泰典（橋本義肢製作株式会社）

- 2-3-8 形成不全（上下肢欠損）の下肢残存機能を考慮し製作した大腿義足吸着式（IRC）の報告 第1報

渡邊 真（株式会社 松本義肢製作所）

- 2-3-9 Orten システム True Depth スキャンを用いて大腿義足ソケットの複製を行った1症例

大橋 義樹（株式会社幸和義肢研究所）

- 2-3-10 高齢大腿切断者の義足懸垂方法を吸着式からライナー式に変更した症例 ～1年後の経過報告～

上田 健二（株式会社 洛北義肢）

2-3-11 断端周径変化が大きくソケット不適合を繰り返した生活期大腿義足使用者にバロスソケットが有効であった 1 例

加藤 弘明 (三重北医療センター菰野厚生病院／日下病院)

2-3-12 切断 2 年後に義足により生活範囲の拡大が可能となった高齢大腿切断者の一症例

東 祐二 (兵庫県立リハビリテーション中央病院 リハビリ療法部 理学療法科)

2-3-13 電子制御膝継ぎ手を用いて自宅内歩行自立となった高齢両側大腿切断者の一症例

北濱 良 (JA 三重厚生連 鈴鹿中央総合病院)

2-3-14 大腿部の軟部組織を温存させた股関節離断者 2 例に対する大腿義足様式での介入経験 ～第 2 報～

栗原 一剛 ((公財) 鉄道弘済会 義肢装具サポートセンター)

10:50 ～ 12:00

一般口演 19**下肢切断 2**

座長：大峯 三郎 (九州栄養福祉大学リハビリテーション学部)

2-3-15 下肢切断者における義足非装着での ADL 獲得に向けた訪問リハビリテーション介入の一例

小山 壹也 (社会医療法人愛仁会 尼崎だいもつ病院 リハ技術部 在宅支援科)

2-3-16 精神障害を有する下腿切断者にチームアプローチで訓練用仮義足を作製した 1 症例

山本 卓 (東名ブレース株式会社)

2-3-17 糖尿病性壊疽のため繰り返し下肢切断を要した 1 例

橘高 千陽 (産業医科大学医学部リハビリテーション医学講座)

2-3-18 下肢切断者における義足作製に至らなかった要因の検討

菅原 健人 (社会医療法人愛仁会 愛仁会リハビリテーション病院 リハ技術部)

2-3-19 北海道の補装具費による義足支給の現状について

千田 幹子 (北海道立心身障害者総合相談所／札幌医科大学医学部リハビリテーション医学講座)

2-3-20 下肢切断患者に対する看護師の退院指導内容の現状と課題～新たな患者指導用ツールの作成に向けて～

白石 志麻 (兵庫県立リハビリテーション中央病院 看護部)

2-3-21 回復期リハビリテーション病棟における透析患者の切断リハビリテーション

水落 和也 (川崎医療生活組合組合川崎協同病院リハビリテーション科)

13:00 ～ 14:10

一般口演 20**下肢切断 3**

座長：野坂 利也 (北海道科学大学保健医療学部義肢装具学科)

2-3-22 新ソケットシステム【ProtheFlex system】の製作経験

富樫 雄平 (株式会社 高田義肢製作所)

2-3-23 右下腿切断に懸垂用装置 Revo を使用した製作症例

佐藤 一稀 (株式会社 松本義肢製作所)

2-3-24 糖尿病性神経障害を合併した膝離断患者に対する膝義足作成の経験

越智 文雄（愛仁会リハビリテーション病院）

2-3-25 肺塞栓に起因する右下肢虚血壊死による膝離断に対して膝義足を製作した一症例

玉井 飛鳥（株式会社洛北義肢）

2-3-26 Northwestern University Flexible Sub-Ischial SuctionSocket 理論を応用した膝義足ソケットの製作経験

入山 剣也（株式会社 洛北義肢）

2-3-27 訓練用仮義足の段階から NU ソケットを選択した 3 症例の紹介

中島 洋介（東名ブレース株式会社）

2-3-28 下肢切断患者の背景と義足歩行アウトカム：2013 ～ 2022 年の診療録による後方視的検討

戸田 光紀（兵庫県立リハビリテーション中央病院）

14:10 ～ 15:20

一般口演 21

下肢装具 3・生活期

座長：菊地 尚久（千葉県千葉リハビリテーションセンター）

2-3-29 「久留米装具連携の会」発足から 3 年間の活動報告

宮原 賢司（医療法人福岡桜十字 花畑病院）

2-3-30 下肢装具使用者における地域連携の実態—当法人の介護支援専門員を対象とした横断研究—

川村 哲史（健生会ふれあい相互病院）

2-3-31 当院回復期病棟退院後の装具ユーザーにおける現状と課題 —装具フォローアップシステム構築に向けて—

服部 大輝（医療法人松徳会 花の丘病院）

2-3-32 装具難民の発生防止と発見を目的とした生活期装具チェックリストの作成と運用

永井 公規（医療法人社団苑田会 花はたりハビリテーション病院／東京都立大学大学院 人間健康科学研究科 理学療法科学域）

2-3-33 アプリケーションを用いた装具の情報管理システムの活用 ～第 2 報～

田代 耕一（医療法人福岡桜十字／桜十字先端リハビリテーションセンター SACRA）

2-3-34 適切な装具作製と装具フォローアップの不十分さに対する当院の取り組み 装具作製履歴と装具手帳を用いて

濱田一之輔（松山リハビリテーション病院）

2-3-35 補装具利用者への QR コードラベリングシステム（ぽーさぽーと）の運用状況について

沼尻 健吾（株式会社幸和義肢研究所）

15:20 ~ 16:30

一般口演 22

義肢装具・その他

座長：沢田光思郎（京都府立医科大学）

2-3-36 二分脊椎症患者（青年期以降）の装具作成状況の報告

上口 茂徳（日本フットケアサービス株式会社）

2-3-37 装具サービスニーズ充足評価尺度の試用：装具ユーザと義肢装具士を対象とした質的データによる有用性の検討

佐藤 健斗（北海道科学大学 保健医療学部／公立千歳科学技術大学 大学院）

2-3-38 活動性の高い若年男性の装具が複数回にわたって破損したことに対する対策について

菊池 駿吾（産業医科大学医学部リハビリテーション医学講座）

2-3-39 装具耐用年数より早く破損・不適合が発生した在宅下肢装具利用者の身体的特徴と生活状況

山崎 祐子（医療法人社団三喜会 鶴巻温泉病院）

2-3-40 脳血管障害患者に対する生活期の短下肢装具処方アルゴリズムの有用性と限界の検討

今井 寛（京都府立心身障害者福祉センター附属リハビリテーション病院 整形外科／京都府立医科大学医学研究科運動器機能再生外科学（整形外科教室））

2-3-41 N-of-1 デザインを応用した義肢・装具等評価手法の予備的検討 - 臨床判断に資するエビデンス構築を目指して -

白銀 暁（国立障害者リハビリテーションセンター研究所）

2-3-42 下肢装具のオンライン判定と対面判定の一致性に関する前向き横断研究

高岡 徹（横浜市総合リハビリテーションセンター）

11月10日(日) 第4会場

本館 B2F 8号(大会議室)

8:30 ~ 9:30

YIA セッション

YIA

座長：蜂須賀研二（リカバリーセンターひびき）

YIA1 小児下肢機能障害における短下肢装具の使用傾向

新木 茜（株式会社澤村義肢製作所）

YIA2 知的障害を有した熱傷後の右下腿・両手指切断患者に大腿義足を作成し、義足の装着と歩行が自立した一例

竹光 一登（医療法人紅萌会 福山記念病院 リハビリテーション科）

YIA3 コルゲーションがプラスチック短下肢装具のねじり剛性に及ぼす影響 —有限要素法を用いた解析—

荒垣 陽花（三浦医工デザイン 株式会社）

YIA4 脳卒中片麻痺者の歩行改善に対する Reverse Omega Shoe Insert (ROSI) と短下肢装具の併用効果

森 嘉裕（札幌麻生脳神経外科病院／北海道科学大学 保健医療学研究科 保健医療学専攻）

YIA5 当科外来におけるポリオ罹患患者の下肢装具の処方と傾向

尾崎 文（産業医科大学医学部リハビリテーション医学講座）

YIA6 回復期リハビリテーション病院における片麻痺患者に対する装具プランニングを目的とした仕組みの導入と効果

鳥羽 充史（南医療生協 かなめ病院）

9:40 ~ 10:40

学生優秀口演

SSS

座長：白銀 暁（国立障害者リハビリテーションセンター研究所福祉機器開発部）

大塚 博（人間総合科学大学）

SSS1 関節リウマチ術後リハビリ用装具の開発 ～4節回転リンクによる負荷機構とMP関節角度無線伝送の実現～

倉科 俊介（日本工業大学大学院）

SSS2 巻き爪予防を目的とした内側縦アーチサポート使用時の母趾部足圧と遠位爪幅狭小化率の変化

中尾 優希（新潟医療福祉大学 義肢装具自立支援学科）

SSS3 能動式義指の可動域拡大のための研究—MP継手位置とスロット形状の変更による改善—

穴戸 絢香（芝浦工業大学大学院理工学研究科）

SSS4 IMUによる片麻痺歩行・正常歩行時の下肢姿勢角推定

金賀 駿（早稲田大学人間科学学術院／国立病院機構村山医療センター）

SSS5 片側前腕 3 自由度筋電義手への実装を目指した手関節動作識別手法の開発（第二報：投票方式の導入）

亀田 舜（芝浦工業大学大学院理工学研究科）

SSS6 極細径ピエゾワイヤセンサを用いた動作分類における周波数領域の特徴量の検討

濱田 優生（東京電機大学）

10:50 ~ 12:00

一般口演 23

デジタルファブリケーション・その他

座長：奥野 雅大（東名ブレース株式会社）

2-4-1 材料押出方式 3D プリンタの造形物と従来義肢装具材料の機械特性比較による安全性初期評価

村原 伸（北海道科学大学）

2-4-2 デジタルファブリケーションによる義肢装具製作の課題と働き方改革に向けた自社の試み

三輪 和弘（東名ブレース株式会社）

2-4-3 デジタルファブリケーションを用いたコルセット製造の試み

前田 桂汰（有限会社岩本義肢製作所／有限会社ジャイブ）

2-4-4 コンピュータ断層撮影データを基に装具の設計に関する試み

岩本 慎一（有限会社 岩本義肢製作所／有限会社 JIVE）

2-4-5 技術革新を視野に入れた補装具費支給制度のあり方のための研究 - 基本工作法の運用に関する実態調査 -

丸山 貴之（国立障害者リハビリテーションセンター学院／国立障害者リハビリテーションセンター 研究所）

2-4-6 令和 6 年能登半島地震災害支援活動に義肢装具士として参加して 日本リハビリテーション支援協会活動報告

小川 大祐（東名ブレース株式会社）

2-4-7 公の施設と連携して広める“パラブレイキン”の取り組み

松田 靖史（川村義肢・大阪大学）

13:00 ~ 14:00

教育講演 10

座長：沢田光思郎（京都府立医科大学 リハビリテーション医学教室）

EL10 血友病性関節症に対する下肢装具療法

藤谷 順子（国立国際医療研究センター リハビリテーション科）

14:05 ~ 15:05

教育講演 11

カーボン製下肢装具の適合を図る

座長：大串 幹（兵庫県立リハビリテーション中央病院）

EL11-1 蜂須賀明子（産業医科大学医学部リハビリテーション医学講座）

EL11-2 荒井 光男（有限会社荒井義肢製作所）

15:15 ~ 16:15

一般口演 24

切断・その他

座長：中村 隆（国立障害者リハビリテーションセンター研究所）

2-4-8 両側手部切断者の自転車ハンドル操舵装置の製作経験

高橋 功次（有限会社タカハシ補装具サービス）

2-4-9 高度な合併症と包括的高度慢性下肢虚血を抱えた高齢下腿切断患者に義足を処方した一例

田島 浩之（産業医科大学医学部リハビリテーション医学講座）

2-4-10 下腿断端に対するエコー評価

大島 隆司（兵庫県立リハビリテーション中央病院）

2-4-11 MRI 画像解析による下肢切断者の断端の筋内脂肪の定量化

河村 拓実（国立障害者リハビリテーションセンター 研究所）

2-4-12 義足長と義足アライメント評価における立位全下肢単純 X 線検査の活用

田中 洋平（JR 東京総合病院リハビリテーション科）

2-4-13 技術革新を視野に入れた補装具費支給制度のあり方のための研究 -3D 技術の導入と運用に関する実態調査 -

須田 裕紀（新潟医療福祉大学）